



小矢部川の「力」を実感。

小矢部市立津沢小学校

学校長：宮本 茂先生

指導教諭：坂本 吾郎先生

水越 充子先生

発表児童：5年生 (6名)

津沢町は、メルヘン建築で有名な小矢部市の南に位置します。毎年6月には、勇壮な夜高行燈が町内ごとに練り歩き、大人や子供の「ヨイヤサー」のかけ声や行燈がぶつかり合う音、沿道の人達の歓声で湧き返ります。津沢小学校は、小矢部川のほとりにあり、学校の窓からは、朝に夕に小矢部川のいろいろな姿を眺めることができます。爽やかな川風が吹き込む校内から、子供たちの元気いっぱいの挨拶や歌う声が響いています。



発表テーマ

わたしたちの小矢部川
～小矢部川のことを考える～

水質検査（支流との関係）、生き物調査、庄川とのつながり、小矢部川の歴史という4つの視点からの研究結果を発表。そして、研究を通して分かったことやこれからの小矢部川に対する思いを発表。

坂本・水越先生より

自分たちの身近な小矢部川のすばらしさを心から実感することができました。

本年度の総合的な学習の時間は、小矢部川一色になりました。子供たちは、川のごみの多さに驚き「小矢部川は大丈夫なのか。」という強い思いをもちました。ひとりひとりが、様々な視点から自分の課題を明確にし、夏休み中に「観察、実験、インタビュー、インターネット検索、図書閲覧」を繰り返しながら自分の課題を追究しました。10月には、研究の成果を専門家の方に見ていただき、研究の取組みについて講評をしていただきました。一連の学習の中で、子供たちは「自分たちの身近な小矢部川は、とてもすばらしい川なんだ。」ということを感じることができました。そして、今回、自分たちの研究の集大成として「水みらいプロジェクト2003」で発表する機会を得たことで、子供たちは、大きな自信と新たな意欲をもつことができました。このような機会を与えていただき誠にありがとうございました。



▲トップバッターで緊張したね。



▲交代交代にみんな元気に発表しました。



▲PCも自分たちで操作。

考えたこと・感じたこと

小矢部川を大切にしていきたい。



小矢部川は、庄川の水をもらいうけ、ゆったりと流れながら自分の力で水をきれいにするすばらしい川であることがわかりました。これからは、自分たちで、できることを実践したいと思います。

- ・看板やチラシを作って、川へゴミを捨てないように地域の人によびかける。
- ・家庭からの排水をできる限り少なくするように、各家庭でよびかける。

学習テーマの設定

総合的な学習の時間を有効に活用
小矢部川環境を5年生みんな
で考え、研究し、自らが体験
することで、より深い小矢部
川への関心と親しみが生まれ
ました。



ごみの多さにビックリ
拾ったゴミを集めてビックリ、ちょっとした気持ちだが、こんなにも大きなごみの山になるんだな。捨てた人がゆるせない。

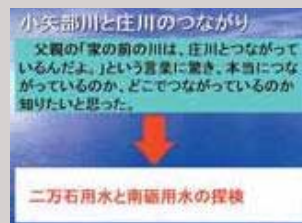
学習の展開

4つのテーマで研究
水質調査、生物調査、庄川とのつながり、小矢部川の歴史とテーマを設定して研究。
夏休みには自分の課題をいろんな角度から追究。



支流の河川も水質調査
分析結果をグラフにすることで、多くの支流は汚れているんだと川の汚れ具合が一目でわかりました。

上流から下流までの生物調査
水生生物や周りの様子を観察や調査することで、水質階級を調査。
下流に進むにつれ、汚れていく実態を身をもって体験。



小矢部川と庄川がつながり
二万石用水と南砺用水の探検を通じて、庄川とのつながり、小矢部川の特徴を知り、家の前の川が庄川につながっていることに驚きましたね。

小矢部川の歴史
物資の運搬に船を使い、生活になくはならない、昔から地域に密着した大切な川ということがわかった。

